

バイオマスエネルギー市民研究会のご案内

新しいBDF事業の取り組み

新触媒の発明とミニプロセッサ（BDF 製造機）の報告

3年ほど前、戸田市ではてんぷら廃食油を市民から回収し、バイオディーゼル燃料を精製し、コミュニティバスなどの運行に利用できないかという「戸田市VDF研究会」が結成されました。市民活動とコミュニティ推進課、環境クリーン室、また商工会の異業種プラザ、中小企業家同友会の異業種交流委員会などと協働で活動が広がりつつも、時期尚早という意見もあってあくまでも市民団体として研究することになりましたが、ここへ来て新たに「戸田市BDF研究会」として復活、それまでに環境省と取り組んできた越谷や新しく取り組もうという松伏、杉戸、白岡町などともネットワークを組み、BDFに限らず、お米や稲穂などからエタノールを精製するというこれからのエネルギーも研究する意図で「バイオマスエネルギー市民研究会」を結成しています。

今回は、前回に続き、各地の現状報告とともに、戸田市BDF研究会が、戸田市SOHOデジタル事業協同組合、有限会社セルフとの連携で、旧熊本工業大学の池永博士とバイオマス・ジャパン株式会社との共同開発した新触媒 BioMAXを使った画期的で新しい方式を紹介します。今回は現在取り組み中の、新触媒の研究成果及び、この方式での超小型プロセッサ（BDF製造機）を利用した障害者自立のためなどに活用した事業化モデルを提唱する予定です。まだ、広く公開してのプレゼンテーションの段階ではありませんが、ご関心のあります皆様のご参加を呼びかけます。

記

日時：12月15日（土）午後 3:30～4:30

その後、忘年会を予定しています。（参加自由）

会場：戸田市起業支援センター（オレンジキューブ）

（埼京線「戸田公園下車3分TEL048-442-8800）

参加申し込みは、メールでお願いします。info@toda-soho-d.coop

以上

共催：戸田市BDF研究会・戸田市SOHOデジタル事業協同組合

